



大垣市社会福祉協議会

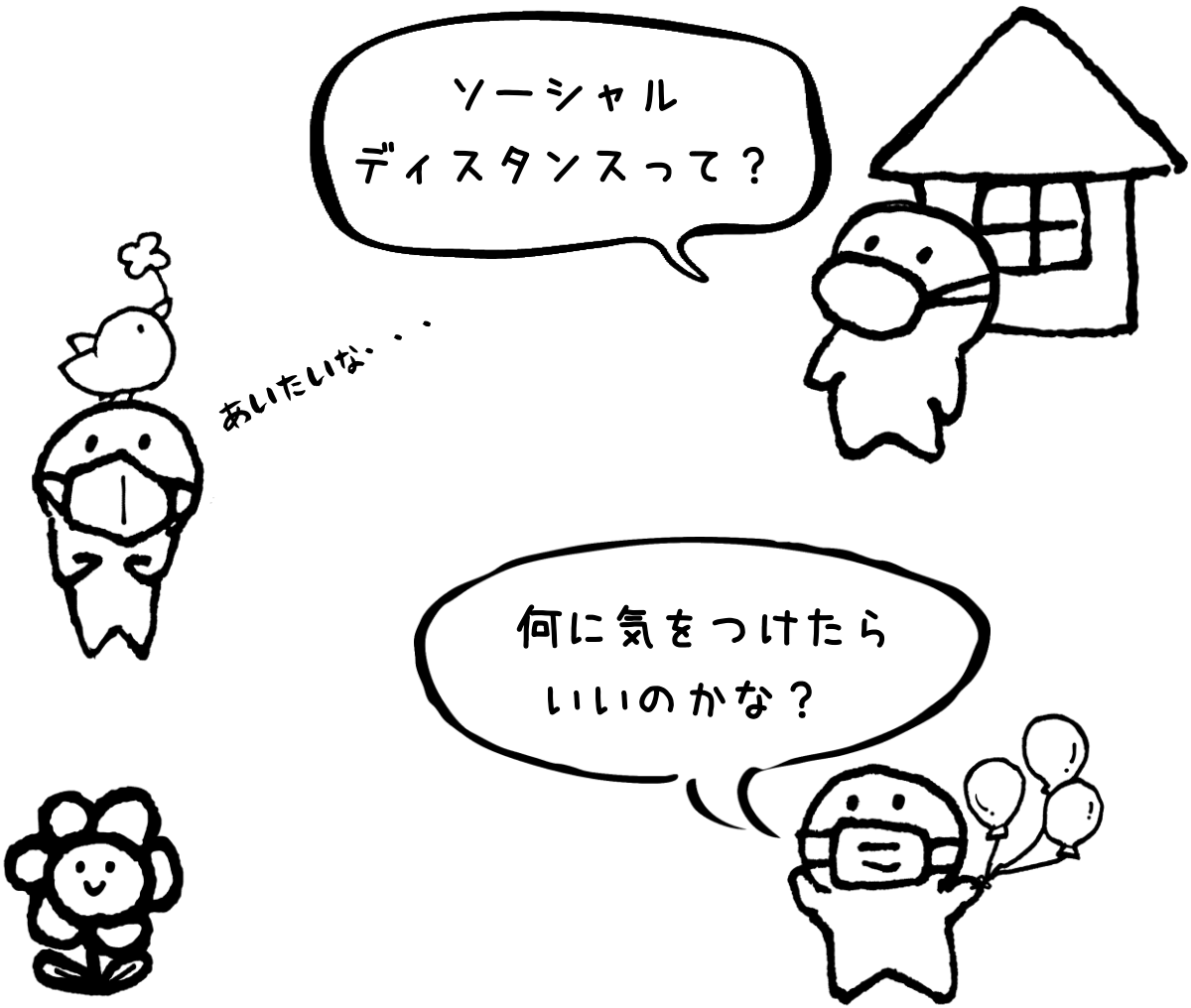
新しい生活様式を取り入れた地域福祉活動・ボランティア活動のてびき
～誰もが安心・安全に暮らせるまちづくりをこれからも～



地域福祉活動・ ボランティア活動の

今

イマコト
イマカタ
イマコソ





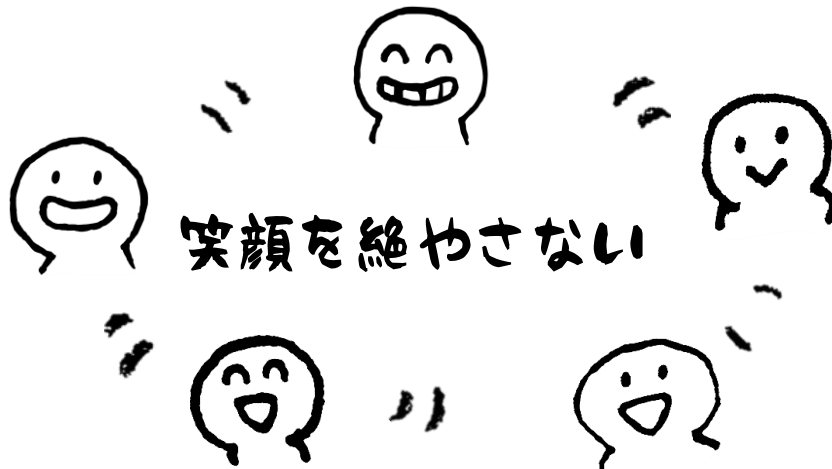
みんなが笑って過ごせる地域をふたたび

大垣市内にはこれまで、住民の皆さんで創り上げ、継続してきた地域福祉活動・ボランティア活動がたくさんあります。

新しい生活様式となり、そういったこれまでできていた活動ができない日々が続いています。しかし、これまで築いてこられたつながりや活動の意義を断ち切ることはないよう持続的な活動を進めていくことが大切です。

これから、地域福祉活動やボランティア活動の再開を考えられている皆さまに関係省庁等から発行された資料を参考に、安心・安全に活動が続けられるよう、「地域福祉活動・ボランティア活動の今」と題したてびきを発行いたしました。

これに沿って行えば「正解」「絶対うまくいく」というものではありません。各活動の再開を検討する材料として、また、「with コロナ」といわれる中で、新型コロナウイルスと上手く付き合いながら活動を再開していただくヒントにご活用ください。



笑顔を絶やさない

どんな意味？イマコト・イマカタ・イマコソ



これからの地域福祉活動を「今できること(イマコト)」「今できる形(イマカタ)」「今だからこそ(イマコソ)」の視点でもう一度、考えていただく機会としてこのてびきを発行いたしました。

「今さら…」や「今となっては…」といったネガティブな発想をしていますが、ポジティブな「今」を住民の皆さんと一緒に考え、住民の皆さんがふたたび笑顔であふれる地域を作っていければと思います。

1 基本的な感染対策（活動前に自分がすべきこと）

- ① 手洗い、手指消毒、うがいの徹底
※流水とせっけんで30秒洗いましょう。
- ② 日頃から検温し、体調が優れない場合は無理に活動しないこと。
※家族や同居人も含め
- ③ ソーシャルディスタンスを意識しましょう。
- ④ マスクなど飛沫防止対策をしましょう。※暑いときは注意



手洗い

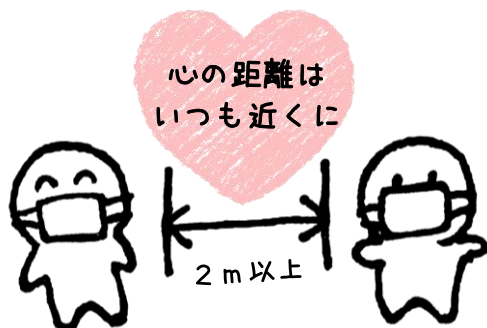
うがい

マスクで飛沫防止対策

2 地域福祉活動・ボランティア活動について

(1) すべてに共通すること

- ① 感染者が発生した時のため、関わった人の連絡先がわかるようにしましょう。※別紙受付チェックシート参照
- ② 長時間の滞在に注意して、可能な限り時間縮小で開催するように検討しましょう。
- ③ ソーシャルディスタンス（人との物理的距離）の確保
※目安として、対話する両者がマスク等、飛沫防止をした上で、2メートル以上の距離を保った環境での活動であれば感染のリスクが限りなく低くなると、研究されたデータも報告されています。



ソーシャルディスタンス
(人との物理的距離)



参加者の受付
(連絡先を確認)

(2) 会場を使用する活動

(会議、研修、ふれあいいきいきサロン、食事サービスの調理等)

- ① 会場は人数制限や配席の距離の確保を意識して準備しましょう。
- ② 換気されている環境を維持し、空気がこもらないようにしましょう。
- ③ 参加者で会場が密になる場合は、開催方法を検討しましょう。
例) 会場の変更、参加者を分けて複数回で開催、屋外での開催 等
- ④ 検温を忘れた方のために、会場で検温できるよう準備をしましょう。
※市社協で検温器の貸出を行っています。
※検温で高温の方には、その場で落ち着いていただいて、再度検温したり、高温が続く場合は受診を促すなど、本人と他の参加者に配慮した対応を心がけましょう。(高温の基準は個人差があります。平熱を確認いただきながら他の症状とあわせてご対応願います)
- ⑤ 会食は控え、菓子等がある場合は個包装されたものを選びましょう。
※飲食をされる時は、(1)座席を横並びや交互配席に(2)個々に分けられた料理(3)食器やコップ・箸等は使い捨てにする等の工夫を行いましょう。
- ⑥ 参加者には事前に健康管理を確認して参加してもらえるよう促しましょう。検温されていない参加者に対し、会場に入る前に検温できるよう準備をしましょう。
- ⑦ 激しい呼吸を伴うような運動は控えましょう。
- ⑧ 使用後は会場の消毒等、衛生面の配慮をしましょう。
※調理器具などの備品を使用した場合は、手の触れた物に消毒するなどの細やかな配慮が必要です。

☆地区で工夫された活動紹介

- ・用意する飲み物をひとりずつ配付できるものに変更しました。
- ・開催を見合わせ、用意していた茶菓子を訪問で配付しました。
- ・マスクでは声が届けにくいと思い、フェイスシールドを使って声かけをしました。



会場の空気がこもっている ×
参加者で密になっている ×

体調が悪い方は ×

(3) 見守り、訪問活動（日頃の見守り訪問や食事サービスの配達等）

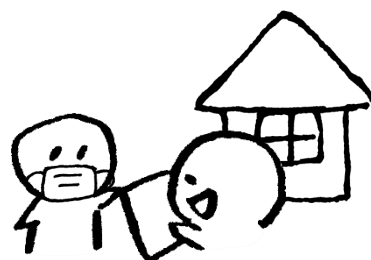
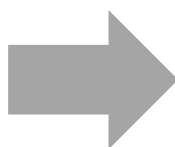
- ① 玄関先や庭先など空気がこもらない環境での訪問にしましょう。
- ② 接触を避けるために届け物を玄関に置いて帰るなどの見守りの意に反した行為は避けていただき、届ける目的や活動の意味を双方に理解いただきながら進めましょう。
- ③ 支援を必要としている方の中には訪問に対し、快く思わない方もおられます。状況に応じて、電話等での見守りにしましょう。
- ④ 食事サービスや高齢者を囲む会が実施できない状況に対し、訪問活動をされる場合、市社協から助成を受けられる場合があります。

☆地区で工夫された活動紹介

- ・訪問の際に、地区で作られたマスクをあわせて配付しました。
- ・いつも以上にゴミ捨ての日や散歩のときに見守りを意識しました。



換気していない部屋



庭先や玄関先で

(4) ボランティアの心構え

地域福祉活動・ボランティア活動を行うにあたり、皆さんが安心・安全に活動をするための基本を大切にしましょう。

○自分を守るために「感染予防」

これまでに記述した「活動するまえ」と「活動するとき」の対策を自ら率先して実践していただき、自分の安全を確保しましょう。

○相手を守るために「感染を広げない」

人に感染する危険があることを常に意識していただき、誰もが気持ちよく活動できる配慮をしましょう。

○みんなを守るために「誰も責めない」

「自分が感染しても、自分を責めない」

「周囲の方が感染しても、その方を責めない」

いつ、どこで、誰が感染するかわかりません。どんなに対策をしても感染してしまうことがあります。感染者を守る雰囲気をつくるのが感染症対策にはとても大切です。

3 これからの地域福祉活動・ボランティア活動にむけて・・・

☆新しい生活様式では、地域福祉活動やボランティア活動の実施方法や集まり方に工夫が必要です。皆さんで知恵を出し合い進めましょう。

☆地域福祉活動やボランティア活動に決まったルールはありません。これまでのつながりを持続するために必要な活動を実情に合わせて進めましょう。

☆これを機に、新たなつながりが生まれることもあります。そのつながりを大切にこれからの活動を前向きに考えてみましょう。

☆このてびきの他、地域や会場等で別に定めるルール等がある場合は、その指示を受けながら実施を検討しましょう。

☆大垣市社会福祉協議会地域福祉課には、各地区を担当する職員がいます。相談しながら一緒に進めましょう。

☆大垣市社会福祉協会には、ボランティア市民活動支援センターがあります。ボランティアについてのご相談もお待ちしています。

※このてびきは、今後の状況によって変更になる場合があります。(令和2年11月作成)



いつも地域のためにありがとうございます。
これからのことについて一緒に考えさせてください！



～大垣市社会福祉協議会について～



大垣社協のホームページです。地域福祉活動の紹介や各事業について説明しています。



このてびき「地域福祉活動の今」をスマートフォンなどから閲覧することが可能です。

【問い合わせ先】大垣市社会福祉協議会 地域福祉課 Tel.0584-78-8182